

ProMED-mail 情報 2018年 4月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

| 掲載日 | 表題 | 概要 |
|-----|----------------------|--|
| 26日 | コレラ イエメン | 過去1年間の累計発症数は1,089,507名、うち5才以下は28.8%、全死亡率0.21%。最近3週間の発症数は、Amran市、Ibb市を除く各市において減少傾向。 |
| 23日 | カンジダ症 英国 | 2015年2月～2017年8月の間、オックスフォード大学病院ICUにおけるカンジダ・オーリス院内感染70人の原因は腋窩体温計からと判明。 |
| 18日 | サルマラリア マレーシア | 2004年Plasmodium knowlesiの発見後、同原虫のヒト感染報告が東南アジア中に増え、2013年マレーシアのマラリア報告の57%に及ぶ。本年1月ボルネオ島中央森林地帯カピト周辺から、第2のサルマラリア原虫P.cynomolgiのヒト感染報告5例。この原虫は三日熱マラリア原虫近縁で、鏡検上もPCR検査でも鑑別困難。 |
| 16日 | 重症熱性血小板減少症候群 東アジア | 中日韓の専門医は今年度のSFTSウイルス感染流行を警告。2009年中国に出現後、感染者数は急増し、2016年には約2,600例で死亡率3%。今年3月に治療薬ファビピラビルの治験が日本で開始。昨年日本で猫、犬の咬傷により、ダニ媒介でない感染例を2例報告。 |
| 13日 | コクシジオイド真菌症 米国 | 米国南西部の暑い半乾燥地域の土壌中のコクシジオイデス・イミチスまたはボサダシルによる真菌感染症。空中に飛散した胞子を吸入したヒトや動物に発症。潜伏期間は1~4週間、多くは不顕性感染。今年度3月までのアリゾナ全報告数は2,461例で前年度の約2倍。 |
| 11日 | チクングニア熱 パキスタン | 2017年シンド州全体で疑い患者数4,868人のうち、4,138人はカラチからの報告。カラチの週間報告数は10人以上の増加中。主にヒトスジシマカの吸血で媒介され、環境衛生と防蚊対策が重要。 |
| 11日 | シャーガス病 ベネズエラ | 西ベネズエラのPuerto Nuevo市で急性シャーガス病流行のため5名死亡。原虫トリパノソーマ・クルージが寄生するサシガメの吸血や、汚染された果実生ジュースにより感染する。2007年に首都カラカスでグアバジュースによる120名以上の感染流行。 |
| 9日 | 髄膜炎性髄膜炎 台湾 | 昨年7月、髄膜炎で入院した桃園基地の兵士3名の血培から血清型B髄膜炎菌同定。114名の接触者の内98名に当初シプロフロキサシン予防投与されたが、シプロフロキサシン耐性と判明し、54名にアジスロマイシン投与。その後一ヶ月間で三次感染者なし。 |
| 6日 | 麻疹 アメリカ、ヨーロッパ | 2016年にアメリカ大陸諸国の麻疹は根絶され、過去5年間のMMRワクチンの初回接種率は92~94%。2018年アメリカ大陸9カ国で、計159人発症。2017年ヨーロッパで前年の4倍発症。年間30億人の航空機による海外旅行客は流行への脅威。 |
| 5日 | 黄熱 ブラジル | 2017年7月以降1,131名の黄熱登録。サンパウロ州の大都市を含め、依然として流行拡大中。ネッタシマカが媒介する都市サイクル伝播の報告はないが、都会内ペットのサルにも黄熱死亡確認され、ワクチン接種とサーベイランスが重要。 |
| 3日 | 猫ひっかき病 日本 | 猫ひっかき病は、バルトネラ・ヘンセラ菌による世界的な人獣共通感染症。同菌の分離培養は難しく、確定診断は生検リンパ節のPCR検査と血液の間接蛍光抗体検査。血液の抗体検査の感度は低いため、血液のPCR検査と組み合わせる検査方法を新たに提唱。 |
| 1日 | 黄熱 ケニア | 当局は、通常24.79米ドルの料金を9.92米ドルの低額で、黄熱ワクチンの代わりに水を旅行者に接種していた悪徳ナイロビ保健官を摘発。 |